

第7章 調査票

乳幼児の事故やけがに関する調査へのご協力をお願い

かねてから、鹿児島市政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本市では、平成24年度から、世界保健機関（WHO）が推進している「セーフコミュニティ」に取り組んでおります。

「セーフコミュニティ」とは、安心安全に生活できるまちづくりのために、市民、関係団体そして行政が協働して事故やけがの防止に取り組む活動を行っている自治体をWHO関連機関が認証する制度です。

今回の調査は、事故やけがの防止対策に役立てるために、乳幼児の事故やけがの実態に関し調査するもので、本市にお住まいの乳幼児がいらっしゃる世帯の中から2,000人の方を無作為に選び、調査票をお送りしております。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

※ この調査結果は、セーフコミュニティの推進に関する以外の目的では一切利用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願いします。

● 調査票の記入について

- 1 同封のセーフコミュニティのリーフレットを読まれてからご回答ください。
- 2 調査対象にしているお子さんの保護者の方がご回答ください。
- 3 特別の注意書きがない限り、平成25年10月1日（火）現在でご回答ください。
- 4 特別の注意書きがない限り、回答欄中のあてはまる番号を○で囲んでください。また、かっこ内には適切な言葉をご記入ください。
- 5 ご回答後の調査票は、お手数ですが平成25年11月14日（木）までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。
- 6 本調査に関してご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

お問合せ先

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1 鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課
電話216-1209 FAX226-0748



※同封のリーフレットを回答前にお読み
ください

平成25年度事故やけがに関する調査（乳幼児）

あてはまる番号に○をつけてください。カッコ内には適切な言葉をご記入ください。

1 対象のお子さん（封書の宛名）のことやお住まいのことについて

問1 対象のお子さんについてお聞きします。

(1) 対象（封書の宛名）のお子さん ※25年10月1日現在	性別	①男	②女
	年齢	（ ）歳（ ）か月	
(2) 対象（封書の宛名）のお子さんの就園 ※25年10月1日現在	就園	①未就園児	
		②保育園児	
		③幼稚園児	
(3) 家族構成		①子どもと両親	
		②子どもと母（又は父）	
		③子どもと両親と祖父母等	
		④子どもと母（又は父）と祖父母等	
		⑤その他	

問2 あなた（保護者）のお住まいについてお聞きします。

(1) 現住所地	（ ）例) 山下町、谷山中央4丁目	
(2) 小学校区	①（ ）校区	② 分からない



2 地域活動について

問3 あなた（保護者）は、地域の住人が一緒になって、地域の課題に取り組んでいると思いますか。（ひとつに○）

- ①そう思う ②ややそう思う ③どちらともいえない
④あまりそう思わない ⑤そう思わない

問4 あなた（保護者）は、地域の住人が一緒になって、地域の課題に取り組むことは重要だと思いませんか。（ひとつに○）

- ①そう思う ②ややそう思う ③どちらともいえない
④あまりそう思わない ⑤そう思わない

問5 あなた（保護者）は、地域の人たちとコミュニケーションをとっていますか。（ひとつに○）

- ①地域の人たちと互いに相談し合うような、生活面での協力関係がある
②地域の人たちと互いに相談し合うことはないまでも、世間話や立ち話をする
③地域の人たちと会話はほとんどしないが、挨拶は交わす
④ほとんど付き合いはなく、挨拶もまれにしかしない
⑤その他

問6 あなた（保護者）は、地域活動に参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

- ①町内会 ⑤清掃活動
②PTA・あいご会 ⑥運動会
③NPO、その他の団体 ⑦その他
④地域の夏祭り

問7 あなたは、地域の暮らしに愛着を感じていますか。（ひとつに○）

- ①感じている ②やや感じている ③どちらともいえない
④あまり感じていない ⑤感じていない

問 10 あなた（保護者）は、交通安全に関する情報はなに（どこ）から得ていますか。
（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①家族・親戚	
②友人・知人	
③テレビ・ラジオ・新聞	
④インターネット（SNSを含む）	
⑤病院	
⑥保育園・幼稚園	
⑦保健所、保健センター	
⑧交通安全教室（講習会などを含む）	
⑨市の広報誌	
⑩市のホームページ	
⑪市以外の育児雑誌等	
⑫その他	

問 11 問 10 の情報を得た後、交通安全に関して、あなた（保護者）は対象のお子さんに対する考え方や行動の変化はありましたか。（ひとつに○）

A 考え方の変化	①あった	②なかった	③わからない
----------	------	-------	--------

考え方の変化の例

- （車に乗る際はチャイルドシートを使用しなければならないと思った。）
- （子どもの手をつないで道路を歩かないといけないと思った。）
- （交通ルールを子どもに教えながら歩かなければならないと思った。）

B 行動の変化	①あった	②なかった	③わからない
---------	------	-------	--------

行動の変化の例

- （車に乗る際はチャイルドシートを使用するようになった。）
- （子どもの手をつないで道路を歩くようになった。）
- （交通ルールを子どもに教えながら歩くようになった。）

問 12 あなた（保護者）は、対象のお子さんが車に乗る際にチャイルドシートを使用していますか。（ひとつに○）

- ①使用している
- ②ときどき使用している
- ③使用していない
- ④持っていない



問 13 あなた（保護者）は、日頃から対象のお子さんのためにどのような交通安全対策をとっていますか。（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①交通ルールを教えている	
②自転車に乗る際にヘルメットを着けさせている	
③道路を歩行する際に手つなぎやだっこをする	
④運転中は車から飛び出さないようにドアをロックしている	
⑤運転中は安全を確保するためにチャイルドシートを使用している。	
⑥道路で遊ばせない	
⑦その他（ ）	



問 14 車内で対象のお子さんがけがをしたまたは危険な目にあったことがありますか。
(ひとつに○)

①ある → 問 14-1 ご回答後、問 15 へ

②ない → 問 15 へ

問 14 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

問 14-1 どんな状況でしたか。(あてはまるものすべてに○)

- ①ドアの開閉時に手・足などをはさまれた
- ②パワーウインドの開閉時に手・首などをはさまれた
- ③熱中症、脱水症状になった
- ④乗車中に交通事故にあった
- ⑤その他 ()



不慮の事故について

問 15 不慮の事故とは、交通事故、転倒、転落、おぼれる、やけど、窒息、中毒などをいいますが、対象のお子さんに対し、特に注意している不慮の事故は何ですか。
（3つまで○）

- ①交通事故 ②転倒 ③転落 ④おぼれる
⑤やけど ⑥窒息 ⑦中毒 ⑧その他（ ）

対象（封筒の宛名）のお子さんのこの1年間（平成24年10月～平成25年9月）の「事故やけが」の状況についてお聞きします。この場合の「事故やけが」とは、不慮の事故によるけがなどを指します。

問 16 対象のお子さんが、この1年間にもう少して「事故やけが」に遭いそうになりヒヤリとしたことはありますか。（ひとつに○）

- ①ある →[問16-1、2ご回答後、問17へ](#)
②ない →[問17へ](#)

問16で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

問 16-1 この1年間に対象のお子さんで、ヒヤリとしたことは、どのくらいの頻度でありますか。（一番近いものひとつに○）

- ①毎日5回以上 ②毎日5回未満 ③2、3日に数回
④1～2週間に数回 ⑤1か月に数回 ⑥年に数回
⑦その他（ ）

問 16-2 この1年間に対象のお子さんで、一番多くヒヤリとした体験は何ですか。
（ひとつに○）

- ①交通事故 ②転倒 ③転落 ④おぼれる
⑤やけど ⑥窒息 ⑦中毒 ⑧その他（ ）

問 17 対象のお子さんは、この1年間に「事故やけが」の経験がありますか。（ひとつに○）

- ①ある → [問 18 ご回答後、問 19 へ](#)
- ②ない → [問 19 へ](#)

問 17 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

問 18 対象のお子さんのこの1年間（平成24年10月～平成25年9月）にあった事故やけがについて、ア：場所、イ：種類、ウ：医療機関の受診の状況、エ：その事故やけがを未然に防ぐことができた可能性を、それぞれ1つずつ、該当する番号でご回答ください。事故やけがの経験が複数ある場合は、最大2件までご回答ください。

(例) ベッドから落ちて頭を打ったため、医療機関で受診し、通院した。その後転落防止のため、
 →ア① →イ③ →ウ⑤ →エ①
ベッドに転落防止柵を設置した。

	(例)	1 件目	2 件目
<p><u>ア 事故やけがをした場所</u></p> <p>①自宅（屋内） ⑥海・川・湖・池</p> <p>②自宅の庭など（屋外） ⑦商業・飲食・娯楽施設</p> <p>③歩道・道路 ⑧保育園・幼稚園・その他通園施設</p> <p>④公園・広場 ⑨公共の場所（市の施設など）</p> <p>⑤車・電車・バスなどの中 ⑩その他（ ）</p>	①		
<p><u>イ 事故やけがの種類</u></p> <p>①交通事故 ⑩人や物との接触</p> <p>②転倒 ⑪ハサミなどの鋭利なものでのけが</p> <p>③転落 ⑫虫にさされた、動物にかまれた</p> <p>④おぼれた ⑬物の落下</p> <p>⑤やけど（熱湯、アイロンなど） ⑭その他（ ）</p> <p>⑥窒息（のどに食べ物をつまらせたなど）</p> <p>⑦異物などの誤飲（たばこの吸殻など）</p> <p>⑧中毒（洗剤を飲み込んだ、煙を吸ったなど）</p> <p>⑨ドアなどに挟まった</p>	③		

<p>ウ 医療機関の受診</p> <p>①家庭などでの応急処理で済んだ ②救急車で医療機関に搬送された ③救急車で医療機関に搬送され、入院・通院した（している） ④医療機関で受診した ⑤医療機関で受診し、入院・通院した（している） ⑥その他（ ）</p>	<p>⑤</p>		
<p>エ 未然に防ぐことができた可能性</p> <p>①防ぐことができた ②防ぐことはできなかった ③わからない</p>	<p>①</p>		

問 18 の『イ 事故やけがの種類』で『②転倒』、『③転落』、『④おぼれた』、『⑤やけど』、『⑥窒息』のいずれかにご回答された方にお聞きします。

問 18 の『イ 事故やけがの種類』で『②転倒』とご回答された方にお聞きします。

（※問 18 で 1 件目と 2 件目のどちらも『イ 事故やけがの種類』を『②転倒』とご回答された場合は、1 件目のものについてご回答ください。）

問 18－1 転倒の原因（ひとつに○）

- ①段差、ものに足をひっかけた
- ②友だちなどに押された
- ③手をひっぱられた（犬の散歩など）
- ④すべった
- ⑤人や物との接触
- ⑥その他（ ）



問 18 の『イ 事故やけがの種類』で『③転落』とご回答された方にお聞きます。

（※問 18 で 1 件目と 2 件目のどちらも『イ 事故やけがの種類』を『③転落』とご回答された場合は、1 件目のものについてご回答ください。）

問 18－2 転落の原因（ひとつに○）

- ①ベッド、椅子、ソファから落ちた
- ②階段から落ちた
- ③窓、ベランダ、屋上から落ちた
- ④抱き上げていて落としてしまった
- ⑤遊具（ジャングルジムなど）で遊んでいて落ちた
- ⑥その他（ ）

問 18 の『イ 事故やけがの種類』で『④おぼれた』とご回答された方にお聞きます。

（※問 18 で 1 件目と 2 件目のどちらも『イ 事故やけがの種類』を『④おぼれた』とご回答された場合は、1 件目のものについてご回答ください。）

問 18－3 おぼれた場所（ひとつに○）

- ①風呂場 ②プール（子ども用プールを含む）
- ③海・川・湖・池 ④その他（ ）

問 18 の『イ 事故やけがの種類』で『⑤やけど』とご回答された方にお聞きます。

（※問 18 で 1 件目と 2 件目のどちらも『イ 事故やけがの種類』を『⑤やけど』とご回答された場合は、1 件目のものについてご回答ください。）

問 18－4 やけどの原因（ひとつに○）

- ①お風呂の湯・シャワー ⑤アイロン
- ②やかん・ポット ⑥ホットプレート、炊飯器など（調理家電）
- ③花火 ⑦食べ物・飲み物
- ④暖房機（ストーブなど） ⑧その他（ ）

問 18 の『イ 事故やけがの種類』で『⑥窒息』とご回答された方にお聞きします。

（※問 18 で 1 件目と 2 件目のどちらも『イ 事故やけがの種類』を『⑥窒息』とご回答された場合は、1 件目のものについてご回答ください。）

問 18-5 窒息の原因・状況（ひとつに○）

- ①食べ物を詰ませた
- ②手元にあったもの（おもちゃ、ボタンなど）を口に入れてしまい、詰ませた
- ③おう吐物が鼻・口をふさいだ
- ④うつぶせ寝
- ⑤ビニール袋等を頭にかぶった・かぶされた
- ⑥添い寝で、親の腕等が鼻・口をふさいだ
- ⑦紐（ブラインドの紐やベルトなど）が首にまきついた
- ⑧その他（）

問 19 お子さんの事故やけがの予防に関する情報は、なに（どこ）から得ていますか。また、お子さんの事故やけがの予防のために、より充実して欲しいと思うものは、なに（どこ）ですか。（3 つまで○）

項 目	3 つまで○	3 つまで○
	現在、得ている	充実して欲しい
①家族・親戚		/
②友人・知人		/
③テレビ・ラジオ・新聞		
④インターネット（SNSを含む）		
⑤病院		
⑥保育園・幼稚園		
⑦保健所、保健センター		
⑧子育てサークルなど		
⑨子育て教室・講座		
⑩育児雑誌		
⑪子育て支援施設（りぼんかん・なかまっちなど）		
⑫その他（ ）		

問 20 問 19 の情報を収集した後、事故やけがに関して、あなた（保護者）は対象のお子さんに対する考え方や行動の変化はありましたか。（ひとつに○）

A 考え方の変化	①あった	②なかった	③わからない
----------	------	-------	--------

考え方の変化の例

- （子どもを車内に残して車を離れることが危険だと思った。）
- （タバコや灰皿が子どもの手に届くところがあると危険だと思った。）
- （子どもがお箸や歯ブラシをくわえたまま歩き回ることは危険だと思った。）

B 行動の変化	①あった	②なかった	③わからない
---------	------	-------	--------

行動の変化の例

- （子どもを車内に残して車を離れなくなった。）
- （タバコや灰皿を子どもの手の届かないところにおくようになった。）
- （子どもがお箸や歯ブラシをくわえたまま歩き回らないよう注意するようになった。）

問 21 あなた（保護者）は、日頃からどのような子どもの安全対策をとっていますか。

過去にとった対策についても、○をつけてください。	あてはまるものすべてに○
①熱いお茶などの入ったコップなどをテーブルの端に置かないようにしている	
②箸や歯ブラシなどをくわえたまま歩き回らないように注意している	
③よく体をぶつけてしまいそうな家具などの角にカバーをしている	
④たんす、食器棚、冷蔵庫の扉が開かないように安全グッズを設置している	
⑤ドアやとびらに手を挟まないように安全グッズを設置している	
⑥窓や扉から飛び出さないように安全グッズを設置している	
⑦階段に転落防止柵を設置している（昇らないような防止柵も含む）	
⑧ベッドに転落防止柵を設置している	
⑨ベランダから身をのりださないように台座などは置かないようにしている	
⑩トイレの中に落ちないようにする子ども用の便座やふたをしている	
⑪浴槽ですべてって溺れないようにすべり止めを設置している	
⑫浴槽の水は残さないようにしている	
⑬ライター、刃物など危ないものは、子どもの手の届かないところに置いている	
⑭たばこを放置しない	
⑮かかりつけの医療機関や緊急時の連絡先が分かるようにしている	
⑯その他（)	

5 子育てへの支援について

問 22 あなた（保護者）は、自分が親になる前に、妊娠や子どもを育てることについて、考える機会がありましたか。（ひとつに〇）

- ①学校（小・中・高校等）の授業等で学び考えた
- ②家庭で親・兄弟の妊娠・育児を通じて学び考えた
- ③親戚、友人・知人の妊娠・育児を通じて学び考えた
- ④近所の人から教えてもらいながら考えた
- ⑤自分が親になるまで、考えたことはない
- ⑥その他（）

問 23 あなた（保護者）は、子どもに手をあげたくなったり、世話したくないと思うときがありますか。（ひとつに〇）

- ①ほとんどいつもそう思う
- ②たまにそう思う
- ③全然そうは思わない

問 24 あなた（保護者）は、子育てで困ったときに相談する人や施設がありますか。（ひとつに〇）

- ①ある → [問 25 ご回答後、問 26 へ](#)
- ②ない → [問 26 へ](#)



問 24 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

問 25 子育てで困ったとき、誰（又はどこ）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①夫婦で話し合いをする	
②親、兄弟姉妹や親戚に相談する	
③近所の人や友人に相談する	
④保健センターや助産院などの専門スタッフに相談する	
⑤子育て支援施設（りぼんかん等）の専門スタッフに相談する	
⑥保育園・幼稚園の先生に相談する	
⑦その他（ ）	

問 26 子育て中の親への支援についてお聞きします。

問 26-1 あなた（保護者）の子育てを手伝ってくれる人はいますか。
（あてはまるものすべてに○）

- ①配偶者
- ②親・兄弟姉妹・親戚
- ③知人・友人
- ④近隣住民
- ⑤いない
- ⑥その他（）



問 26-2 あなた（保護者）は、子どもの一時預かりの施設等を利用したことがありますか。（AからDの項目ごとにひとつに○）

項 目	利用の有無	利用頻度
Aファミリー・サポート・センターの育児支援	①有 ②無	①毎週 ②毎月 ③年、数回
B保育園の一時預かり	①有 ②無	①毎週 ②毎月 ③年、数回
C幼稚園の預かり保育	①有 ②無	①毎週 ②毎月 ③年、数回
Dすこやか子育て交流館（りぼんかん）の一時預かり	①有 ②無	①毎週 ②毎月 ③年、数回

問 27 あなた（保護者）は、どのような子育て支援を活用していますか。また、どのような子育て支援があればいいと考えていますか。（最も希望するもの3つに○）

項 目	3つまで○	3つまで○
	現在、活用している	充実して欲しい
①電話相談		
②家庭訪問		
③保育園や幼稚園への通園		
④子育て講座の受講		
⑤保護者同士の交流会		
⑥子どもの発達相談や健診		
⑦育児サークル		
⑧地区ごとの子ども行事		
⑨保護者への心理相談		
⑩その他（ ）		

6 防災について

問 28 あなた（保護者）は、避難する場所を決めていますか。（または自宅に一番近い指定避難所を知っていますか。（ひとつに○）

- ①決めている（知っている） ②決めていない（知らない）

問 29 お子さんのための災害時の非常持ち出し品を準備していますか。（ひとつに○）

- ①準備している ②準備していない

問 30 お子さんと避難所に避難した場合に、一番不安なのは次のうちどれですか。（ひとつに○）

- ①食事 ⑤情報収集
 ②トイレ ⑥周りに迷惑をかけないか心配なこと
 ③睡眠 ⑦その他（ ）
 ④衛生面

問 31 事故やけがの予防に関しご意見、ご感想などありましたらご記入ください。

質問は以上です。最後までご協力頂きましてありがとうございました。
 同封の返信用封筒（切手不要）に、この調査票を入れ **11月14日（木）**までに、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。

小学生・中学生の事故やけがに関する調査へのご協力をお願い

かねてから、鹿児島市政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本市では、平成24年度から、世界保健機関（WHO）が推進している「セーフコミュニティ」に取り組んでおります。

「セーフコミュニティ」とは、安心安全に生活できるまちづくりのために、市民、関係団体そして行政が協働して事故やけがの防止に取り組む活動を行っている自治体をWHO関連機関が認証する制度です。

今回の調査は、事故やけがの防止対策に役立てるために、小学生・中学生の事故やけがの実態に関し調査するもので、本市にお住まいの小学生・中学生がいらっしゃる世帯の中から2,000人の方を無作為に選び、調査票をお送りしております。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

※ この調査結果は、セーフコミュニティの推進に関する以外の目的では一切利用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願いします。

● 調査票の記入について

- 1 同封のセーフコミュニティのリーフレットを読まれてからご回答ください。
- 2 調査対象にしているお子さんと一緒に保護者の方がご回答ください。
(問20から問22については、対象の中学生ご本人がご回答ください。)
- 3 特別の注意書きがない限り、平成25年10月1日（火）現在でご回答ください。
- 4 特別の注意書きがない限り、回答欄中のあてはまる番号を○で囲んでください。また、カッコ内には適切な言葉をご記入ください。
- 5 ご回答後の調査票は、お手数ですが平成25年11月14日（木）までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。
- 6 本調査に関してご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

お問合せ先

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1 鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課

電話216-1209 FAX226-0748



※同封のリーフレットを回答前にお読み
ください

平成25年度事故やけがに関する調査（小中学生）

あてはまる番号に○をつけてください。カッコ内には適切な言葉をご記入ください。

1 対象（封書の宛名）のお子さんのことやお住まいのことについて

問1 対象のお子さんについてお聞きします。

(1) 対象（封書の宛名） のお子さん ※25年10月1日現在	性別	①男	②女	
	年齢	（ ）歳		
(2) 対象（封書の宛名） のお子さんの学年	学年	①小学1年生	④小学4年生	⑦中学1年生
		②小学2年生	⑤小学5年生	⑧中学2年生
		③小学3年生	⑥小学6年生	⑨中学3年生

問2 あなた（保護者）のお住まいについてお聞きします。

(1) 現住所地	（ ）例）山下町、谷山中央4丁目
(2) 小学校区	①（ ）校区 ② 分からない

2 地域活動について

問3 あなた（保護者）は、地域の住人が一緒になって、地域の課題に取り組んでいると思いますか。（ひとつに○）

- ① そう思う
- ② ややそう思う
- ③ どちらともいえない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない

問4 あなた（保護者）は、地域の住人が一緒になって、地域の課題に取り組むことは重要だと思いますか。（ひとつに○）

- ① そう思う
- ② ややそう思う
- ③ どちらともいえない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない

問5 あなた（保護者）は、地域の人たちとコミュニケーションをとっていますか。
（ひとつに○）

- ①地域の人たちと互いに相談し合うような、生活面での協力関係がある
- ②地域の人たちと互いに相談し合うことはないまでも、世間話や立ち話をする
- ③地域の人たちと会話はほとんどしないが、挨拶は交わす
- ④ほとんど付き合いはなく、挨拶もまれにしかしない
- ⑤その他

問6 あなた（保護者）は、地域活動に参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

- ①町内会
- ②PTA・あいご会
- ③NPO、その他の団体
- ④地域の夏祭り
- ⑤清掃活動
- ⑥運動会
- ⑦その他

問7 あなた（保護者）は、地域の暮らしに愛着を感じていますか。（ひとつに○）

- ①感じている
- ②やや感じている
- ③どちらともいえない
- ④あまり感じていない
- ⑤感じていない

問8 あなた（保護者）は、鹿児島市の暮らしに安心安全を感じていますか。（ひとつに○）

- ①感じている
- ②やや感じている
- ③どちらともいえない
- ④あまり感じていない
- ⑤感じていない



問9-2で『①交通ルールを守っている』、『②たまに交通ルールを守っていないことがある』とご回答された方にお聞きします。

問9-3 対象のお子さんは、交通安全教室（講習会などを含む）に参加した後、守っている（守るようになった）交通ルールは次のうちどれですか。
（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①横断歩道を渡るようになった	
②右左右をみて渡るようになった	
③信号無視をしないようになった	
④自転車に乗るときはヘルメットを着けるようになった	
⑤横断するときは手を挙げて渡るようになった	
⑥交差点や見通しの悪いところは注意して通行するようになった	
⑦携帯電話をかけながら歩かなくなった	
⑧携帯電話をかけながら自転車に乗らなくなった	
⑨車に乗る時は、後ろに座っていてもシートベルトを着けるようになった	
⑩その他（ ）	



問 10 あなた（保護者）は、交通安全に関する情報はなに（どこ）から得ていますか。
 （あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①家族・親戚	
②友人・知人	
③テレビ・ラジオ・新聞	
④インターネット（SNSを含む）	
⑤病院	
⑥学校	
⑦交通安全教室（講習会などを含む）	
⑧市の広報誌	
⑨市のホームページ	
⑩市以外の情報誌等	
⑪その他	

問 11 対象のお子さんは、いつもどのくらいの頻度で自転車に乗りますか。
 （一番近いものひとつに○）

- ①ほぼ毎日（週4日以上）
 - ②週に2～3日
 - ③週に1日
 - ④ほとんど乗らない
 - ⑤自転車には乗らない・乗れない
 - ⑥自転車はもっていない
-

問 11 で『①ほぼ毎日（週 4 日以上）』～『④ほとんど乗らない』のいずれかにご回答された方にお聞きします。

問 11-1 対象のお子さんは、自転車に乗るときにヘルメットをつけていますか。
（ひとつに○）

- ①いつもつけている
 - ②時々つけている
 - ③あまりつけていない
 - ④つけていない
- } → 問 11-3 ご回答後、問 12 へ
- } → 問 11-2、3 ご回答後、問 12 へ

問 11-1 で『④つけていない』にご回答された方にお聞きします。

問 11-2 ヘルメットをつけていない理由は何ですか。（ひとつに○）

- ①ヘルメットを持っていない
- ②着用が面倒くさい
- ③格好が悪い
- ④まわりがつけていない
- ⑤必要性を感じない
- ⑥ヘルメットを持っているが、サイズが合わなくなった
- ⑦その他（ ）

問 11-3 対象のお子さんは、自転車に関して、次の項目のルールを知っていますか。また、そのルールを守っていますか。（あてはまるものすべてに○）

項 目	知っている	守っている
①交差点では必ず一旦停止し、左右の安全を確認する		
②歩道は歩行者を優先させる		
③横断歩道は自転車を降りてわたる		
④夜は必ず自転車のライトをつける		
⑤携帯電話をかけながら自転車の運転はしない		
⑥傘をさしながら自転車の運転はしない		
⑦横に並んで自転車の走行はしない		

※ 自転車は、車のなかまでです。自転車にも守るべきルールがあります。傘さし運転、走行中の携帯電話、横に並んでの走行などは禁止されています。



問 12 あなた（保護者）は、対象のお子さんに、交通ルールを守って自転車に乗るように言い聞かせていますか。（ひとつに○）

- ①いつも言い聞かせている
- ②時々言い聞かせている
- ③言い聞かせていない

問 13 車内で対象のお子さんがけがをしたまたは危険な目にあったことがありますか。（ひとつに○）

- ①ある → [問 13-1 ご回答後、問 14 へ](#)
- ②ない → [問 14 へ](#)

問 13 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

問 13-1 どのような状況でしたか。（あてはまるものすべてに○）

- ①ドアの開閉時に手・足などをはさまれた
- ②パワーウインドの開閉時に手・首などをはさまれた
- ③熱中症、脱水症状になった
- ④乗車中に交通事故にあった
- ⑤その他（ ）

4 子育てへの支援について

問 14 あなた（保護者）は、自分が親になる前に、妊娠や子どもを育てることについて、考える機会がありましたか。（ひとつに○）

- ①学校（小・中・高校等）の授業等で学び考えた
②家庭で親・兄弟の妊娠・育児を通じて学び考えた
③親戚、友人・知人の妊娠・育児を通じて学び考えた
④近所の人から教えてもらいながら考えた
⑤自分が親になるまで、考えたことはない
⑥その他（ ）

問 15 あなた（保護者）は、子どもに手をあげたくなったり、世話したくないと思うときがありますか。（ひとつに○）

- ①ほとんどいつもそう思う
②たまにそう思う
③全然そうは思わない

問 16 あなた（保護者）は、子育てで困ったときに相談する人や施設がありますか。（ひとつに○）

- ①ある → [問 17 ご回答後、問 18 へ](#)
②ない → [問 18 へ](#)



問 16 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

問 17 あなた（保護者）は、子育てで困ったとき、誰（又はどこ）に相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①夫婦で話し合いをする	
②親、兄弟姉妹や親戚に相談する	
③近所の人や友人に相談する	
④保健センターや助産院などの専門スタッフに相談する	
⑤子育て支援施設（りぼんかん等）の専門スタッフに相談する	
⑥小学校・中学校の先生に相談する	
⑦その他（ ）	

問 18 あなた（保護者）の子育てを手伝ってくれる人はいますか。
（あてはまるものすべてに○）

- ①配偶者
- ②親・兄弟姉妹・親戚
- ③知人・友人
- ④近隣住民
- ⑤いない
- ⑥その他（ ）

問 19 あなた（保護者）は、どのような子育て支援を活用していますか。また、どのような子育て支援があればいいと考えていますか。（最も希望するもの3つまで○）

項 目	3つまで○	3つまで○
	現在、活用している	充実して欲しい
①電話相談		
②家庭訪問		
③子どもの発達相談や健診		
④地区ごとの子ども行事		
⑤保護者への心理相談		
⑥その他（ ）		



5 暴力（DV）について

中学生の方のみ、DVについてお聞きします。

DVの設問（問20から問22）については、中学生本人が、可能な範囲でお答えください。

小学生の方は、問23にお進みください。

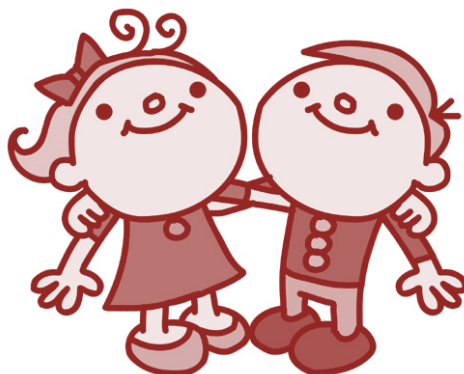
※DV（ドメスティック・バイオレンス）とは・・・

一般的には、配偶者や恋人など親密な関係の中で起こる、たたくなどの身体的な暴力や、どなったりするなどの嫌がらせのことをいいます。DVは大人だけの問題ではなく、若者の間にも起こっていて、特に恋人との交際中にふるわれる暴力を、「デートDV」といいます。

問20 男女の役割などについて、あなた（中学生本人）の考えをおたずねします。

（A～Eの項目ごとにひとつに○）

	項 目	① そう思う	② ややそう 思う	③ あまりそう 思わない	④ そう思わ ない
A	家事や育児は女性の仕事だと思えますか？				
B	男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきだと思えますか？				
C	女性は男性に従うべきだと思えますか？				
D	男性は弱音をはくべきではないと思えますか？				
E	女性は自己主張せず控えめな方がいいと思えますか？				



問 21 あなた（中学生本人）が交際した（異性と付き合う）場合、次のようなときに、あなたはどのように思いますか？（A～Gの項目ごとの番号にひとつに○）

	項 目	① そう思う	② ややそう 思う	③ あまりそう 思わない	④ そう思わ ない
A	ひどい言葉で傷つけても、直接たたいたりしなければ暴力ではないと思う				
B	つきあい始めたら、男性が女性をリードしなければ格好が悪いと思う				
C	たとえ暴力をふるわれても謝られたら許すべきだと思う				
D	暴力をふるわれる方にも悪いところがあると思う				
E	メールチェックや誰と会うかなど干渉・束縛するのは好きな証拠だと思う				
F	キスや体を触ることを求められたとき、愛情があるなら嫌でも応じると思う				
G	相手を怒らせないように工夫すれば、相手からの暴力をなくすことができると思う				



問 22 DV（ドメスティック・バイオレンス）について、あなた（中学生本人）におたずねします。

（A～Dの項目ごとの番号にひとつに○、E～Fはあてはまるものすべてに○）

	項 目				
A	「DV」を知っていましたか？	① 言葉も 意味も 知って いた	② 言葉だけ は知って いた	③ まったく知ら なかった	
B	「デートDV」を知っていましたか？	① 言葉も 意味も 知って いた	② 言葉だけ は知って いた	③ まったく知ら なかった	
C	デートDVは自分にとって身近なことだ と思いますか？	① そう思 う	② ややそう 思う	③ あまりそう思 わない	④ そう思わ ない
D	「デートDV」について詳しく知りたい と思いますか？	① そう思 う	② ややそう 思う	③ あまりそう思 わない	④ そう思わ ない
E	DVの被害者や加害者にならないための 学習をしたことがありますか？	① 家庭で 学んだ	② 学校で学 んだ	③ その他で学ん だ ()	④ 学んだこ とがない
F	交際相手のことで悩んだら相談します か？	① 友人に 相談す る	② 先生に相 談する	③ 家族に相談す る	④ 相談しな い



6 防災について

問 23 対象のお子さんは、避難する場所を決めていますか。（または自宅に一番近い指定避難所を知っていますか。）（ひとつに○）

- ①決めている（知っている） ②決めていない（知らない）

問 24 対象のお子さんは、災害が発生したとき、家族と連絡をとる方法を決めていますか。（ひとつに○）

- ①決めている ②決めていない

問 25 対象のお子さんは、災害時の非常持ち出し品を準備していますか。（ひとつに○）

- ①準備している ②準備していない

問 26 対象のお子さんは、避難所に避難した場合に、一番不安なのは次のうちどれですか。（ひとつに○）

- ①食事 ⑤情報収集
②トイレ ⑥周りに迷惑をかけないか心配なこと
③睡眠 ⑦その他（ ）
④衛生面

問 27 桜島の火山活動では、大正噴火時に失われたマグマの約9割が蓄積されており、2020年代には、その蓄積が大正噴火直前の状態とほぼ同じになり、大正噴火級の噴火が起こる可能性が示唆されていることを、対象のお子さんはご存じですか。（ひとつに○）

- ①知っている ②知らない



※問 28 から問 30 は桜島にお住まいの方への質問です。それ以外の方については問 31 にお進みください。

問 28 対象のお子さんは、鹿児島市が開催する桜島火山爆発総合防災訓練に参加したことがありますか。（ひとつに○）

- ①ほぼ毎年参加している
- ②ほぼ毎年とはいかないが参加したことがある。
- ③参加したことはない

問 29 現在、避難時に家族カードを提出することで、避難した方を把握することになっていますが、対象のお子さんは、家族カードを提出することを知っていますか。（ひとつに○）

- ①知っている
- ②知らない

問 30 現在、避難しなかった人（避難時に島外にいる人や逃げ遅れた人など）を町内会や行政で確認する仕組みはありません。対象のお子さんは、把握できるようにしておくことが必要だと考えますか。（ひとつに○）

- ①必要である
- ②必要ではない
- ③わからない

問 31 事故やけがの予防に関しご意見、ご感想などありましたらご記入ください。

質問は以上です。最後までご協力頂きましてありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）に、この調査票を入れ **11月14日（木）**までに、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。

鹿児島市民の事故やけがなどに関する調査へのご協力をお願い

かねてから、鹿児島市政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本市では、平成24年度から、世界保健機関（WHO）が推進している「セーフコミュニティ」に取り組んでおります。

「セーフコミュニティ」とは、安心安全に生活できるまちづくりのために、市民、関係団体そして行政が協働して事故やけがの防止に取り組む活動を行っている自治体をWHO関連機関が認証する制度です。

今回の調査は、事故やけがの防止対策に役立てるために、市民の事故やけがの実態に関し調査するもので、本市にお住まいの16歳から64歳までの方の中から2,000人の方を無作為に選び、調査票をお送りしております。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

※ この調査結果は、セーフコミュニティの推進に関する以外の目的では一切利用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願いします。

● 調査票の記入について

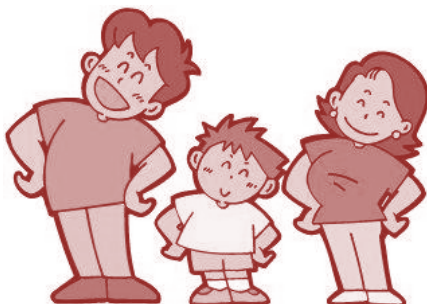
- 1 同封のセーフコミュニティのリーフレットを読まれてからご回答ください。
- 2 調査対象としての方がご回答ください。（ご本人様をご回答できない場合は、ご家族の方などが、可能な範囲で聞き取り等を行いご回答ください。）
- 3 特別の注意書きがない限り、平成25年10月1日（火）現在でご回答ください。
- 4 特別の注意書きがない限り、回答欄中のあてはまる番号を○で囲んでください。また、カッコ内には適切な言葉をご記入ください。
- 5 ご回答後の調査票は、お手数ですが**平成25年11月14日（木）まで**に、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。
- 6 本調査に関してご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

お問合せ先

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1 鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課

電話216-1209 FAX226-0748



※同封のリーフレットを回答前にお読みください

平成25年度事故やけがに関する調査（一般）

あてはまる番号に○をつけてください。カッコ内には適切な言葉をご記入ください。

1 あなたのことやお住まいについて

問1 あなたの性別などについてお聞きします。

(1) 対象（封書の宛名） の方 ※25年10月1日現在	性別 ①男 ②女 年齢 () 歳
(2) 対象（封書の宛名） の方の就労状況 ※25年10月1日現在	就労状況 ①就労している ③学生 ②就労していない ④その他

問2 あなたのお住まいについてお聞きします。

(1) 現住所地	() 例) 山下町、谷山中央4丁目
(2) 小学校区	① () 校区 ② 分からない

2 地域活動について

問3 あなたは、地域の住人が一緒になって、地域の課題に取り組んでいると思いますか。
(ひとつに○)

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない
④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

問4 あなたは、地域の住人が一緒になって、地域の課題に取り組むことは重要だと思いますか。(ひとつに○)

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない
④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

問5 あなたは、地域の人たちとコミュニケーションをとっていますか。（ひとつに○）

- ①地域の人たちと互いに相談し合うような、生活面での協力関係がある
- ②地域の人たちと互いに相談し合うことはないまでも、世間話や立ち話をする
- ③地域の人たちと会話はほとんどしないが、挨拶は交わす
- ④ほとんど付き合いはなく、挨拶もまれにしかしない
- ⑤その他

問6 あなたは、地域活動に参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

- ①町内会
- ②PTA・あいご会
- ③NPO、その他の団体
- ④地域の夏祭り
- ⑤清掃活動
- ⑥運動会
- ⑦その他

問7 あなたは、地域の暮らしに愛着を感じていますか。（ひとつに○）

- ①感じている
- ②やや感じている
- ③どちらともいえない
- ④あまり感じていない
- ⑤感じていない

問8 あなたは、鹿児島市の暮らしに安心安全を感じていますか。（ひとつに○）

- ①感じている
- ②やや感じている
- ③どちらともいえない
- ④あまり感じていない
- ⑤感じていない



3 交通安全について

問9 あなたは、平成24年中、鹿児島市内で発生した交通事故の死亡者が21人、負傷者が4,500人以上であることを知っていますか。(ひとつに○)

- ①知っている
②知らない

問10 あなたは、平成24年中、鹿児島県内で発生した交通死亡事故のうち、歩行中に事故にあった方の半数以上が自宅から500m以内の距離で起こっていることを知っていますか。(ひとつに○)

- ①知っている
②知らない

問11 あなたは、平成24年中、鹿児島市内で発生した交通事故の6割以上が自動車によるものであることを知っていますか。(ひとつに○)

- ①知っている
②知らない

問12 あなたは、平成24年中、鹿児島市内で発生した交通事故のうち、自動車で事故にあった方の半数以上が運転者の前方不注意、動静不注意、安全不確認などの安全運転義務違反であることを知っていますか。(ひとつに○)

- ①知っている
②知らない

(参考)

	内 容
前方不注意	・テレビ、携帯電話、ひげそり、お化粧などの「ながら」運転をした ・脇見運転をした など
動静不注意	・対向車や歩行者などを注意深く見て運転しなかった など
安全不確認	・まわりをよく確認しないで運転をした など

問 13 あなたは自動車を運転しますか。（近いものひとつに○）

- ①毎日運転する
- ②週 5～6 日運転する
- ③週 3～4 日運転する
- ④週 1～2 日運転する
- ⑤月数回～年数回程度運転する
- ⑥運転はしない



→ 問 13-1、2 个回答後、問 14 へ

→ 問 14 へ

問 13 で『①毎日運転する』～『⑤月数回～年数回程度運転する』のいずれかにご回答された方にお聞きします。

問 13-1 あなたは、次の交通ルールを知っていますか。また、その交通ルールを守って運転していますか。（あてはまるものすべてに○）

	それぞれについてあてはまるものすべてに○	
	知っている	守っている
①横断歩道を横断する歩行者等がいる場合は一時停止しなければならない		
②歩行者の横を通過するときは、安全な間隔をあけるか徐行しなければならない		
③酒気を帯びて運転してはならない		
④運転中は、カーナビ・携帯電話などの操作を行ってはならない		
⑤道路標識等によって指定された最高速度を超える速度で進行してはならない		
⑥道路のまがり角付近、上り坂の頂上付近などでの追越しをしてはならない		
⑦一時停止の道路標識がある交差点では、停止線の直前で一時停止しなければならない		
⑧駐停車が禁止されている場所では、駐車または停車してはならない		
⑨交通混雑時等に、横断歩道や停止禁止部分に進入してはならない		
⑩ハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作して運転しなければならない		
⑪道路、交通等の状況に応じて安全を確認して運転しなければならない		
⑫右折、左折をするときは、方向指示器等により、合図をしなければならない		

問 13-2 あなたは、自動車を運転するときに同乗者にシートベルトを着用させていますか。（ひとつに○）

- ①必ずさせている
- ②たまにさせないことがある
- ③させていない
- ④他の者を同乗させることはない

問 19 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

問 20 あなたは、子育てで困ったとき、誰に（又はどこに）相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①夫婦で話し合いをする	
②親、兄弟姉妹や親戚に相談する	
③近所の人や友人に相談する	
④保健センターや助産院などの専門スタッフに相談する	
⑤子育て支援施設（りぼんかん等）の専門スタッフに相談する	
⑥保育園・幼稚園、小・中学校など学校の先生に相談する	
⑦その他（ ）	

問 21 あなたの子育てを手伝ってくれる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

- ①配偶者
- ②親・兄弟姉妹・親戚
- ③友人・知人
- ④近隣住民
- ⑤いない
- ⑥その他（ ）



問 22 あなた（保護者）は、どのような子育て支援を活用していますか。また、どのような子育て支援があればいいと考えていますか。（最も希望するもの3つに○）

項 目	3つまで○	3つまで○
	現在、活用している	充実して欲しい
①電話相談		
②家庭訪問		
③子どもの発達相談や健診		
④地区ごとの子ども行事		
⑤保護者への心理相談		
⑥その他（ ）		

5 暴力（DV）について

※DV（ドメスティック・バイオレンス）とは・・・

一般的には、配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者からふるわれる暴力をいい、身体的な暴力だけでなく、社会的地位や信用、経済力、腕力などの「力」を背景に、様々な暴力の形をとって、相手を支配しようとする行為であり、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。（下記はDV事例の一部）

★身体的なもの

- ・なぐられる
- ・けられる
- ・たたかれる
- ・引きずりまわされる

★精神的なもの

- ・怒鳴られる
- ・無視される
- ・子どもを盾に脅される
- ・交友関係を制限される

★経済的なもの

- ・生活費を渡されない
- ・お金の使い道を細かく確認される

★性的なもの

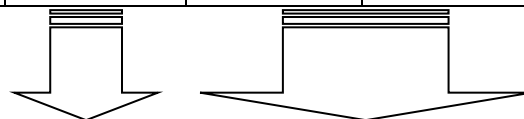
- ・性行為を強要される
- ・避妊に協力してもらえない

問 23 配偶者等からの暴力は、多くの場合女性が被害者となっています。このような配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、あなたはどのように思われますか。（AからFの項目ごとにひとつに○）

	項 目	① そう思う	② ややそう 思う	③ あまりそ う思わな い	④ そう思わ ない
A	ドメスティック・バイオレンスは人権を侵害する行為であると思う				
B	どんな理由があっても暴力をふるうべきではないと思う				
C	暴力をふるわれる方にも問題があると思う				
D	暴力をふるう相手から別れたいと思えばいつでも別れられると思う				
E	暴力は個人的な問題ではなく、社会的に対策が必要な問題だと思う				
F	夫婦間の暴力であっても、求めに応じて警察や行政の相談機関が積極的に関わるべきであると思う				

問 24 あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から次のようなことをされたことがありますか。（AからCの項目ごとにひとつに○）

	項 目	① まったくな い	② 1・2度 あった	③ 何度もあつ た
A	なぐられたり、けられたり、物を投げつけられたり、突き飛ばされたりするなどの身体に対する暴行を受けた			
B	人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視されるなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたもしくはあなたの家族が危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた			
C	避妊に協力しなかったり、嫌がっているのに性的な行為を強要された			



問 25 へ

問 24-1、2、3
ご回答後、問 25 へ

問 24 で『② 1・2度あった』または『③ 何度もあった』とご回答された方にお聞きします。

問 24-1 あなたはその相手から受けた暴力によって、命の危険を感じたことがありますか。（ひとつに○）

①ある

②ない

問 24-2 あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①家族に相談した	
②友人・知人に相談した	
③行政機関（鹿児島市男女共同参画センター（サンエールかごしま相談室）、鹿児島県男女共同参画センター、鹿児島市子どもと女性の相談室、鹿児島県女性相談センター、保健所、保健センター、法務局など）に相談した	
④警察に連絡・相談した	
⑤弁護士に相談した	
⑥医師に相談した	
⑦民間のカウンセリングルームに相談した	
⑧どこ（だれ）にも相談しなかった	
⑨その他（ ）	

NO DV! YES SMILE

鹿児島市は「配偶者暴力相談支援センター」を設置しました。

サンエールかごしま相談室 099-813-0853

がまんしないで相談を

相談無料 秘密厳守

問 24-2 で『⑧どこ（だれ）にも相談しなかった』とご回答された方にお聞きします。

問 24-3 どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。
（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①どこ（だれ）に相談してよいのか分からなかったから	
②相談する人が近くにいなかったから	
③恥ずかしくてだれにも言えなかったから	
④相談してもむだだと思ったから	
⑤相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	
⑥相手に「誰にも言うな」とおどされたから	
⑦子どもに危害が及ぶと思ったから	
⑧自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	
⑨自分にも悪いところがあると思ったから	
⑩個人的なことなので、人に相談せず自分で解決しようと思ったから	
⑪担当者の言動により不快な思いをすと思ったから	
⑫世間体が悪いから	
⑬他人（相談した相手）を巻き込みたくなかったから	
⑭他人（相談したいと思っている相手）に知られると、これまでの付き合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから	
⑮相手の行為は愛情の表現だと思ったから	
⑯そのことについて思い出したくなかったから	
⑰相談するほどのことではないと思ったから	
⑱家族なのだからがまんするよう言われるのではないかと思ったから （離婚・別居など）	
⑲その他（)	

問 25 DVについての具体的な相談先や鹿児島市等が発行しているDVに関するパンフレット等について、知っていますか。（A～Fの項目ごとにひとつに○）

	項 目	① 知ってお り、相談し た（読んだ） ことがある	② 知っていた が、相談し た（読んだ） ことはない	③ まったく知 らなかった
A	サンエールかごしま相談室			
B	鹿児島市こどもと女性の相談室			
C	鹿児島県女性相談センター			
D	鹿児島県男女共同参画センター			
E	各警察署生活安全課			
F	鹿児島市等が発行しているDVの相談先を紹介するカードサイズリーフレット等 ※病院や金融機関、公共施設等に設置			

相談窓口

サンエールかごしま相談室
(配偶者暴力相談支援センター)
☎ 099-813-0853
相談時間 水・木・金・土 / 10:00~17:00
日 / 10:00~20:00
※その他、弁護士や臨床心理士による専門相談及び男性相談を定期的に実施(要予約)

鹿児島市女性相談(こどもと女性の相談室内)
☎ 099-216-1263(市役所内)
相談時間 月~金 / 8:30~17:15
※祝日除く

鹿児島市谷山福祉部福祉課
☎ 099-269-8460(谷山支所内)
相談時間 月~金 / 9:15~16:00
※祝日除く

鹿児島県女性相談センター
(配偶者暴力相談支援センター)
☎ 099-222-1467
相談時間 月・水・木・金 / 8:30~17:00
※祝日除く
火 / 8:30~20:00
日 / 9:00~15:00

鹿児島県男女共同参画センター
(配偶者暴力相談支援センター)
☎ 099-221-6630
099-221-6631
相談時間 水・木・金・土 / 9:00~17:00
日(休館日の翌日) / 9:00~20:00
※その他、弁護士や医師による専門相談及び男性相談を定期的に実施(要予約)

警察総合相談電話(鹿児島県警察本部内)
☎ 099-254-9110または#9110
受付時間 24時間対応

鹿児島県警察本部生活安全企画課
☎ 099-206-0110(代)
受付時間 月~金 / 8:30~17:15

各警察署の生活安全(刑事)課
受付時間 月~金 / 8:30~17:15
※上記以外でも緊急の場合対応

緊急を要する場合は、**110番**を...
警察以外の窓口は、年末年始はお休みです。

性的暴力
○ 性行為を強要される
○ 避妊に協力しない

夫や恋人など身近な人からの暴力(DV)は、あなたの人権を侵害する許されない行為です。
まずは、相談してみてください。

鹿児島市が発行しているカードサイズDVリーフレット

6 自殺について

問 26 あなたは、この1年間で自殺したい(死にたい)と考えたことがありますか。
(ひとつに○)

- ①考えたことがある → 問 26-1、2、3 个回答後、問 27 へ
②考えたことはない → 問 27 へ

問 26 で『①考えたことがある』とご回答された方にお聞きします。

問 26-1 自殺を考えたときの一番の原因は何ですか。(ひとつに○)

- | | |
|----------|-----------|
| ①家庭問題 | ⑤学校問題 |
| ②健康問題 | ⑥勤務問題 |
| ③経済・生活問題 | ⑦孤独感・近隣関係 |
| ④男女問題 | ⑧その他 () |

問 26-2 あなたは、自殺をしたいと思ったときにだれ(どこか)に相談しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------|
| ①配偶者 | ⑥職場 |
| ②配偶者以外の家族 | ⑦医療機関 |
| ③友人・知人 | ⑧相談していない |
| ④相談機関(市役所・いのちの電話など) | ⑨その他 () |
| ⑤学校 | |

問 26-3 あなたは、自殺をしたいと思った原因による精神的苦痛などのため、医療機関を受診したことがありますか。(ひとつに○)

- ①ある ②ない

7 防災について

問 29 避難する場所を決めていますか。（または自宅に一番近い指定避難所を知っていますか。）（ひとつに○）

- ①決めている（知っている） ②決めていない（知らない）

問 30 災害が発生したとき、家族と連絡をとる方法を決めていますか。（ひとつに○）

- ①決めている ②決めていない

問 31 災害時の非常持ち出し品を準備していますか。（ひとつに○）

- ①準備している ②準備していない

問 32 災害時要援護者避難支援制度を知っていますか。（ひとつに○）

- ①知っている ②知らない

※災害時要援護者避難支援制度とは、災害時やそのおそれがある場合の避難に、家族等の支援が困難で、何らかの助けを必要とする重度の障害者やひとり暮らし高齢者などの皆様が、地域の中で避難の支援が受けられるようにするため、本人の申請や民生委員の戸別訪問調査による災害時要援護者台帳の作成や、支援に必要となる情報の提供などを行うための取り組みです。

問 33 避難所に避難した場合に、一番不安なのは次のうちどれですか。（ひとつに○）

- ①食事 ⑤情報収集
②トイレ ⑥周りに迷惑をかけないか心配なこと
③睡眠 ⑦その他（ ）
④衛生面

問 34 災害時に避難した人と避難しなかった人の把握のため、家族情報（家族の人数、氏名、年齢など）を事前に町内会などで把握しておく必要性を感じますか。またそうすることに賛成ですか。（ひとつに○）

- ①必要性があり、賛成である
- ②必要性は感じるが、賛成しがたい
- ③必要性は感じない、反対である
- ④その他（)

問 35 桜島の火山活動では、大正噴火時に失われたマグマの約9割が蓄積されており、2020年代には、その蓄積が大正噴火直前の状態とほぼ同じになり、大正噴火級の大噴火が起こる可能性が示唆されていることをご存じですか。（ひとつに○）

- ①知っている
- ②知らない

※問 36 から問 39 は桜島にお住まいの方への質問です。それ以外の方は問 40 にお進みください。

問 36 鹿児島市が開催する桜島火山爆発総合防災訓練に参加したことがありますか。（ひとつに○）

- ①ほぼ毎年参加している
- ②ほぼ毎年とはいかないが参加したことがある
- ③参加したことはない



問 37 現在、避難時に家族カードを提出することで、避難した方を把握することになっていますが、家族カードを提出することを知っていますか。（ひとつに○）

- ①知っている ②知らない

問 38 現在、避難しなかった人（避難時に島外にいる人や逃げ遅れた人など）を町内会や行政で確認する仕組みはありません。把握できるようにしておくことが必要だと考えますか。（ひとつに○）

- ①必要である ②必要ではない ③わからない

問 39 「避難勧告」が発令されたら、車は使わず船で避難することになりますが、その前の「避難準備」が発令された段階で、車などで島外に避難する考えがありますか。（ひとつに○）

- ①避難準備の段階で車で避難する
②その考えはない
③わからない

問 40 事故やけがの予防に関しご意見、ご感想などありましたらご記入ください。

[]

質問は以上です。最後までご協力頂きましてありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）に、この調査票を入れ **11月14日（木）**までに、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。

高齢者の事故やけがなどに関する調査へのご協力をお願い

かねてから、鹿児島市政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本市では、今年度から、世界保健機関（WHO）が推進している「セーフコミュニティ」に取り組んでおります。

「セーフコミュニティ」とは、安心安全に生活できるまちづくりのために、市民、関係団体そして行政が協働して事故やけがの防止に取り組む活動を行っている自治体をWHO関連機関が認証する制度です。

今回の調査は、事故やけがの防止対策に役立てるために、市民の事故やけがの実態に関し調査するもので、本市にお住まいの65歳以上の方の中から2,000人の方を無作為に選び、調査票をお送りしております。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

※ この調査結果は、セーフコミュニティの推進に関する以外の目的では一切利用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願いします。

● 調査票の記入について

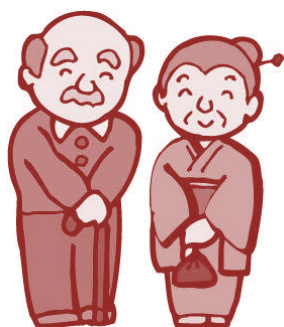
- 1 同封のセーフコミュニティのリーフレットを読まれてからご回答ください。
- 2 調査対象としていない方がご回答ください。（ご本人様にご回答できない場合は、ご家族の方などが、可能な範囲で聞き取り等を行いご回答ください。）
- 3 特別の注意書きがない限り、平成25年10月1日（火）現在でご回答ください。
- 4 特別の注意書きがない限り、回答欄中のあてはまる番号を○で囲んでください。また、かっこ内には適切な言葉をご記入ください。
- 5 ご回答後の調査票は、お手数ですが**平成25年11月14日（木）まで**に、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。
- 6 本調査に関してご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

お問合せ先

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1 鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課

電話216-1209 FAX226-0748



※同封のリーフレットを回答前にお読みください

平成25年度事故やけがに関する調査（高齢者）

あてはまる番号に○をつけてください。カッコ内には適切な言葉をご記入ください。

1 あなたのことやお住まいについて

問1 あなたの性別や世帯構成などについてお聞きします。

(1) 対象(封書の宛名)の方 ※25年10月1日現在	性別 ①男 ②女 年齢 () 歳
(2) 対象(封書の宛名)の方の就労状況 ※25年10月1日現在	就労状況 ①就労している ②就労していない
(3) 世帯構成	①単身 ②夫婦だけ（配偶者も65歳以上） ③夫婦だけ（配偶者は65歳未満） ④3人以上（世帯のすべてが65歳以上） ⑤3人以上（64歳未満の家族がいる） ⑥その他

問2 あなたのお住まいについてお聞きします。

(1) 現住所地	() 例) 山下町、谷山中央4丁目
(2) 小学校区	① () 校区 ② 分からない

2 地域活動について

問3 あなたは、地域の住人が一緒になって、地域の課題に取り組んでいると思いますか。
(ひとつに○)

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない
④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

問4 あなたは、地域の住人が一緒になって、地域の課題に取り組むことは重要だと思いますか。（ひとつに○）

- ①そう思う ②ややそう思う ③どちらともいえない
④あまりそう思わない ⑤そう思わない

問5 あなたは、地域の人たちとコミュニケーションをとっていますか。（ひとつに○）

- ①地域の人たちと互いに相談し合うような、生活面での協力関係がある
②地域の人たちと互いに相談し合うことはないまでも、世間話や立ち話をする
③地域の人たちと会話はほとんどしないが、挨拶は交わす
④ほとんど付き合いはなく、挨拶もまれにしかしない
⑤その他

問6 あなたは、地域活動に参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

- ①町内会 ⑥運動会
②PTA・あいご会 ⑦お達者クラブ
③NPO、その他の団体 ⑧老人クラブ
④地域の夏祭り ⑨その他
⑤清掃活動

問7 あなたは、地域の暮らしに愛着を感じていますか。（ひとつに○）

- ①感じている ②やや感じている ③どちらともいえない
④あまり感じていない ⑤感じていない

問8 あなたは、鹿児島市の暮らしに安心安全を感じていますか。（ひとつに○）

- ①感じている ②やや感じている ③どちらともいえない
④あまり感じていない ⑤感じていない

3 交通安全について

問9 あなたは、ここ数年、鹿児島市内で発生した交通死亡事故のうち、半数以上が高齢者であることを知っていますか。（ひとつに○）

- ①知っている
- ②知らない

問10 あなたは、平成24年中、鹿児島市内で発生した交通死亡事故のうち、夜間歩行中に事故にあった方の全員が夜光反射材を着用していなかったことを知っていますか。（ひとつに○）

- ①知っている
- ②知らない

問11 あなたは、平成24年中、鹿児島県内で発生した交通死亡事故のうち、歩行中に事故にあった方の半数以上が自宅から500m以内の距離で起こっていることを知っていますか。（ひとつに○）

- ①知っている
- ②知らない

問12 あなたは、この1年間（平成24年10月から平成25年9月まで）に歩行者対象の交通安全教室（講習会などを含む）に参加したことがありますか。（ひとつに○）

- ①参加したことがある → 問12-1、2、3ご回答後、問13へ
 - ②参加したことがない
 - ③わからない
- } → 問13へ



問 12-3 あなたは、歩行者対象の交通安全教室（講習会などを含む）に参加した後、行動の変化はありますか。（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①道路を横断するときは横断歩道を渡るようになった	
②信号が青になってから左右を確認して道路を横断するようになった	
③自動車の直前直後の横断はしないようになった	
④交差点や見通しの悪いところは注意して通行するようになった	
⑤夜間、道路を歩くときは夜光反射材を着用するようになった	
⑥斜め横断をしないようになった	
⑦交通ルールは守っているので改めるものは特になかった	
⑧その他（ ）	

問 13 あなたは、夜間や薄暗いときの散歩などに、夜光反射材がついたものを活用していますか。（ひとつに○）

- ①活用している
 - ②たまに活用している
 - ③夜は外出しない
 - ④活用していない
- } → 問 14 へ
- 問 13-1 ご回答後、問 14 へ

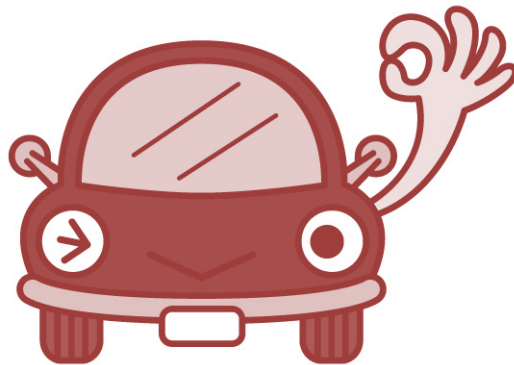
問 13 で『④活用していない』とご回答された方にお聞きします。

問 13-1 夜光反射材を活用していない理由は何ですか。（ひとつに○）

- ①夜光反射材を持っていない
- ②夜光反射材がどういうものであるか知らない
- ③懐中電灯を常に装備している
- ④相手に認識されやすい服装をしている
- ⑤着用が面倒くさい
- ⑥格好が悪い
- ⑦効果がなさそう
- ⑧使用するのがもったいない

問 14 あなたは、自動車を運転しますか。（近いものひとつに○）

- ①毎日運転する
 - ②週 5～6 日運転する
 - ③週 3～4 日運転する
 - ④週 1～2 日運転する
 - ⑤月数回～年数回程度運転する
 - ⑥運転免許証を持っているが、運転しない
 - ⑦運転免許証を持っていたが、自主返納した
 - ⑧運転免許証を持っていない
- 問 14-1、2、3 へ
- 問 15 へ
- 問 17 へ



問 14 で『①毎日運転する』～『⑤月数回～年数回程度運転する』のいずれかにご回答された方にお聞きします。

問 14-1 あなたは、次の交通ルールを知っていますか。また、その交通ルールを守って運転していますか。（あてはまるものすべてに○）

	それぞれについてあてはまるものすべてに○	
	知っている	守っている
①横断歩道を横断する歩行者等がいる場合は一時停止しなければならない		
②歩行者の横を通過するときは、安全な間隔をあけるか徐行しなければならない		
③酒気を帯びて運転してはならない		
④運転中は、カーナビ・携帯電話などの操作を行ってはならない		
⑤道路標識等によって指定された最高速度を超える速度で進行してはならない		
⑥道路のまがり角付近、上り坂の頂上付近などでの追越しをしてはならない		
⑦一時停止の道路標識がある交差点では、停止線の直前で一時停止しなければならない		
⑧駐停車が禁止されている場所では、駐車または停車してはならない		
⑨交通混雑時等に、横断歩道や停止禁止部分に進入してはならない		
⑩ハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作して運転しなければならない		
⑪道路、交通等の状況に応じて安全を確認して運転しなければならない		
⑫右折、左折をするときは、方向指示器等により、合図をしなければならない		

問 14-2 あなたは、自動車を運転するときに同乗者にシートベルトを着用させていますか。（ひとつに○）

- ①必ずさせている
- ②たまにさせないことがある
- ③させていない
- ④他の者を同乗させることはない

問 14-3 あなたは、体の衰え（視力、反応など）が運転に影響してきたと感じたことがありますか。（ひとつに○）

- ①ある → [問 14-4 ご回答後、問 15 へ](#)
- ②ない → [問 15 へ](#)

[問 14-3 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。](#)

問 14-4 どんなときに感じましたか。（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①人や物などに気づくのが遅れるようになった	
②急ブレーキを踏む回数が多くなった	
③縁石などによく接触するようになった	
④同乗者から運転が危ないといわれるようになった	
⑤夜間の運転がつらくなった	
⑥駐車場の枠にまっすぐに止められなくなった	
⑦どこを走っているかわからなくなった	
⑧ブレーキとアクセルを踏み間違えた	
⑨その他（ ）	

問 15 あなたは、「高齢者運転免許自主返納支援制度」を知っていますか。

- ①知っている
- ②知らない

「高齢者運転免許自主返納支援制度」

- ・市営バス、市電、JR 九州バス、南国交通バスの割引（空港バス、高速バス、観光バス、コミュニティバス等を除く）

（問い合わせ先：県警察本部交通企画課高齢者対策係 206-0110）

- ・住民基本台帳カードの無料交付

（問い合わせ先：市役所市民課窓口第一係 216-1221）

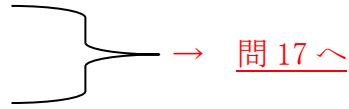
※ 詳しい制度の内容・手続きについては、各問い合わせ先にお尋ねください。

問 16 あなたは、運転免許の自主返納をしたいと思いますか。（ひとつに○）

①自主返納をしたいと思います

②わからない

③自主返納をしたいと思います



→ 問 17 へ

→ 問 16-1 ご回答後、問 17 へ

問 16 で『③自主返納をしたいと思います』とご回答された方にお聞きします。

問 16-1 運転免許の自主返納をしたいと思います理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①買い物に必要	
②仕事（通勤を含む）に必要	
③病院への通院に必要	
④その他生活に必要	
⑤公共交通機関が自宅（目的地）の近くにない	
⑥運転技術に自信がある	
⑦身分証明書として活用している	
⑧返納すると運転ができなくなる	
⑨その他（ ）	

問 17 あなたは、自動車の運転席、助手席、後部座席に乗車しているときにシートベルトを着用していますか。（ひとつに○）

運転席	①必ずしている	③していない
	②たまにしないことがある	④運転はしない
助手席	①必ずしている	③していない
	②たまにしないことがある	④乗らない
後部座席	①必ずしている	③していない
	②たまにしないことがある	④乗らない

4 転倒予防について

歩行や転倒についてお聞きします。

問 20 この1年間(平成24年10月から平成25年9月まで)に転んだことがありますか。
(ひとつに○)

- ①ある ②ない

問 21 この1年間(平成24年10月から平成25年9月まで)に転びそうになりヒヤリとしたことがありますか。(ひとつに○)

- ①ある ②ない

問 22 転ぶことに対する不安はありますか。(ひとつに○)

- ①ある ②ない

問 23 転びやすい場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

- ①玄関 ⑥寝室
②廊下 ⑦居間
③トイレ ⑧外出先 ()
④風呂場 ⑨その他 ()
⑤台所

問 24 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。(ひとつに○)

- ①思う ②思わない

問 25 以前に比べて歩幅がせまくなってきたと思いますか。(ひとつに○)

- ①思う ②思わない

問 26 手押し車を使っていますか。(ひとつに○)

- ①使っている ②使っていない

問 27 杖を使っていますか。(ひとつに○)

- ①使っている ②使っていない

5 口腔機能について

問 28 半年前に比べて固いものが食べづらくなりましたか。(ひとつに○)

- ①はい ②いいえ

問 29 お茶や汁物等でむせることがありますか。(ひとつに○)。

- ①ある ②ない

問 30 飲み込みに対する不安はありますか。(ひとつに○)

- ①とても不安を感じる
②やや不安を感じる
③あまり不安を感じない
④まったく不安を感じない

問 31 食物をのどにつまらせたことがありますか。(ひとつに○)

- ①ある → 問 32 ご回答後、問 33 へ
②ない → 問 33 へ

問 32 問 31 で『① ある』とご回答された方にお聞きします。のどにつまらせた物は何ですか。(ひとつに○)

- ①ご飯 ⑤もち
②おかず ⑥あくまき (ちまき)
③あめ ⑦その他()
④ゼリー

問 33 口の渇きが気になりますか。（ひとつに○）

- ①気になる
- ②気にならない

6 介護予防について

問 34 介護予防のための教室等に参加していますか。（ひとつに○）

- ①参加している
 - ②現在は参加していないが、今後参加したい
 - ③参加していない
 - ④わからない
- } → [問 35 ご回答後、問 37 へ](#)

→ [問 36 ご回答後、問 37 へ](#)

→ [問 37 へ](#)

問 34 で『①参加している』『②現在は参加していないが、今後参加したい』とご回答された方にお聞きします。

問 35 次にあげる介護予防事業のうち、参加している（参加したいと思う）ものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- ①転倒や骨折予防などのための運動能力、筋力の向上
- ②食生活の見直しや栄養の改善など低栄養予防
- ③いろいろな人と交流を図ることによるうつ病や閉じこもりの予防
- ④口の中を清潔に保ち、歯科疾患などを積極的に予防する口腔ケア
- ⑤頭や身体を使う脳トレーニングなどの認知症予防



問 34 で『③参加していない』とご回答された方にお聞きします。

問 36 介護予防教室に参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①健康状態や体力に不安がないから	
②通院しているから	
③めんどうだから	
④元気だから	
⑤時間がとれないから	
⑥何をするのかわからないから	
⑦一人では参加しにくいから	
⑧参加する場所が遠いから	
⑨教室に参加しなくても自分で運動しているから	
⑩その他（ ）	

7 住まいに関する現状と今後の希望について

問 37 現在の住まいは次のうちどれですか。（ひとつに○）

- ①一戸建て持ち家
- ②一戸建て借家
- ③分譲マンション（エレベーター 有・無）
- ④賃貸マンション（エレベーター 有・無）
- ⑤県営住宅・市営住宅（エレベーター 有・無）
- ⑥アパート
- ⑦その他（ ）

問 38 日常生活支援が必要になったときや要介護になったときでも可能な限り住み慣れた我が家（地域）で暮らしたいですか。（ひとつに○）

- ①住み慣れた我が家（地域）での生活を希望 } → 問 40 へ
 ②転居し、親族等との同居を希望 }
 ③老人ホームなどの施設への転居希望 → 問 39 ご回答後、問 40 へ

問 38 で『③老人ホームなどの施設への転居希望』とご回答された方にお聞きします。

問 39 老人ホームなどの施設への転居を希望する理由は何ですか。
 （あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①家族や周りに迷惑をかけたくないから	
②交通が不便で買い物などが不自由だから	
③身近に相談できる人や支援してくれる人がいないから	
④気楽に集える場所がないから	
⑤1人で住むには不安があるから	
⑥その他（ ）	

問 40 現在の住まいは住みやすいと思いますか。（ひとつに○）

- ①思う → 問 44 へ
 ②思わない → 問 41、問 42 へ

問 40 で『② 思わない』とご回答された方にお聞きします。

問 41 住みづらいと思われる場所はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

- ①玄関 ⑤台所
 ②廊下 ⑥寝室
 ③トイレ ⑦居間
 ④風呂場 ⑧その他（）

問 42 在宅生活を続けるために、今後、住宅改修が必要とお考えですか。（ひとつに○）

①はい → 問 43 ご回答後、問 44 へ

②いいえ → 問 44 へ

問 43 問 42 で『① はい』とご回答された方にお聞きします。どこを改修したいですか。
（あてはまるものすべてに○）

場所	①玄関	⑤台所
	②廊下	⑥寝室
	③トイレ	⑦居間
	④風呂場	⑧その他（ ）

内容	①段差の解消
	②手すりの取り付け
	③すべり止め防止
	④その他（ ）

8 認知症に対する理解について

問 44 あなたは認知症についてご存知ですか。（ひとつに○）

①知っている ②知らない

問 45 あなたは、認知症は病気だと思えますか。（ひとつに○）

①思う ②思わない ③わからない

問 46 あなたは、ご自身について、認知症に対する不安や心配がありますか。（ひとつに○）

①ある ②ない ③わからない

問 47 認知症サポーター（認知症に関する学習会を受講し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者）についてご存知ですか。（ひとつに○）

- ①知っている
- ②聞いたことはあるが内容は知らない
- ③知らない

問 48 あなたは、認知症についての勉強会に参加したいと思いませんか。（ひとつに○）

- ①参加したい
- ②参加したくない
- ③わからない

問 49 あなたが自身や家族について認知症に関する不安をもったとき、相談したいと考えるのは誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①家族・親戚	
②知人・友人	
③民生委員	
④医療機関	
⑤長寿あんしん相談センター(地域包括支援センター)	
⑥市高齢者相談窓口	
⑦市保健所、保健センター	
⑧誰（どこ）に相談したらいいかわからない	
⑨その他（ ）	

9 暴力について

※DV（ドメスティック・バイオレンス）とは・・・

一般的には、配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者からふるわれる暴力をいい、身体的な暴力だけでなく、社会的地位や信用、経済力、腕力などの「力」を背景に、様々な暴力の形をとって、相手を支配しようとする行為であり、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。（下記はDV事例の一部）

★身体的なもの

- ・なぐられる
- ・けられる
- ・たたかれる
- ・引きずりまわされる

★精神的なもの

- ・怒鳴られる
- ・無視される
- ・子どもを盾に脅される
- ・交友関係を制限される

★経済的なもの

- ・生活費を渡されない
- ・お金の使い道を細かく確認される

★性的なもの

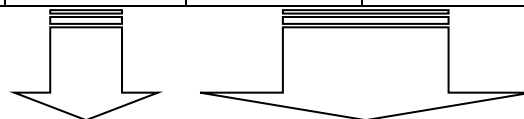
- ・性行為を強要される
- ・避妊に協力してもらえない

問 50 配偶者等からの暴力は、多くの場合女性が被害者となっています。このような配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、あなたはどのように思われますか。（AからFの項目ごとにひとつに○）

	項 目	① そう思う	② ややそう思う	③ あまりそう思わない	④ そう思わない
A	ドメスティック・バイオレンスは人権を侵害する行為であると思う				
B	どんな理由があっても暴力をふるうべきではないと思う				
C	暴力をふるわれる方にも問題があると思う				
D	暴力をふるう相手から別れたいと思えばいつでも別れられると思う				
E	暴力は個人的な問題ではなく、社会的に対策が必要な問題だと思う				
F	夫婦間の暴力であっても、求めに応じて警察や行政の相談機関が積極的に関わるべきであると思う				

問 51 あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から次のようなことをされたことがありますか。（AからCの項目ごとにひとつに○）

	項 目	① まったく ない	② 1・2度 あった	③ 何度もあ った
A	なぐられたり、けられたり、物を投げつけられたり、突き飛ばされたりするなどの身体に対する暴行を受けた			
B	人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視されるなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたもしくはあなたの家族が危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた			
C	避妊に協力しなかったり、嫌がっているのに性的な行為を強要された			



問 52 へ

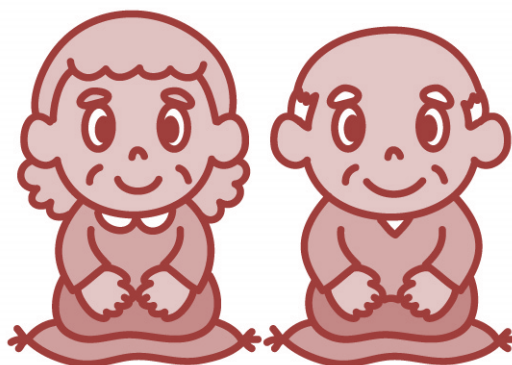
問 51-1、2、3
ご回答後、問 52 へ

問 51 で『② 1・2度あった』または『③ 何度もあった』とご回答された方にお聞きします。

問 51-1 あなたはその相手から受けた暴力によって、命の危険を感じたことがありますか。（ひとつに○）

①ある

②ない



問 51-2 あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①家族に相談した	
②友人・知人に相談した	
③行政機関（鹿児島市男女共同参画センター（サンエールかごしま相談室）、鹿児島県男女共同参画センター、鹿児島市こどもと女性の相談室、鹿児島県女性相談センター、保健所、保健センター、法務局など）に相談した	
④警察に連絡・相談した	
⑤弁護士に相談した	
⑥医師に相談した	
⑦民間のカウンセリングルームに相談した	
⑧どこ（だれ）にも相談しなかった	
⑨その他（ ）	



問 51-2 で「⑧どこ（だれ）にも相談しなかった」とご回答された方にお聞きします。

問 51-3 どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。

（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①どこ（だれ）に相談してよいのか分からなかったから	
②相談する人が近くにいなかったから	
③恥ずかしくてだれにも言えなかったから	
④相談してもむだだと思ったから	
⑤相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	
⑥相手に「誰にも言うな」とおどされたから	
⑦子どもに危害が及ぶと思ったから	
⑧自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	
⑨自分にも悪いところがあると思ったから	
⑩個人的なことなので、人に相談せず自分で解決しようと思ったから	
⑪担当者の言動により不快な思いをすと思ったから	
⑫世間体が悪いから	
⑬他人（相談した相手）を巻き込みたくなかったから	
⑭他人（相談したいと思っている相手）に知られると、これまでの付き合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから	
⑮相手の行為は愛情の表現だと思ったから	
⑯そのことについて思い出したくなかったから	
⑰相談するほどのことではないと思ったから	
⑱家族なのだからがまんするよう言われるのではないかと思ったから	
⑲相談することによって自分の望まない結果になるのではと思ったから（離婚・別居など）	
⑳その他（ ）	

問 52 DVについての具体的な相談先や鹿児島市等が発行しているDVに関するパンフレット等について、知っていますか。（AからFの項目ごとにひとつに○）

	項 目	① 知ってお り、相談し た（読ん だ）こと がある	② 知ってい たが、相談 した（読ん だ）こと はない	③ まったく 知らな かった
A	サンエールかごしま相談室			
B	鹿児島市子どもと女性の相談室			
C	鹿児島県女性相談センター			
D	鹿児島県男女共同参画センター			
E	各警察署生活安全課			
F	鹿児島市等が発行しているDVの相談先を紹介するカードサイズリーフレット等 ※病院や金融機関、公共施設等に設置			

相談窓口

サンエールかごしま相談室
(配偶者暴力相談支援センター)
☎ 099-813-0853
相談時間 月・火・水・木・金 / 10:00~17:00
土・日・祝 / 10:00~20:00
※その他、弁護士や臨床心理士による専門相談及び男性相談を定期的に実施(要予約)

鹿児島市女性相談(子どもと女性の相談室内)
☎ 099-216-1263(市役所内)
相談時間 月~金 / 8:30~17:15
※祝日除く

鹿児島市谷山福祉部福祉課
☎ 099-269-8460(谷山支所内)
相談時間 月~金 / 9:15~16:00
※祝日除く

鹿児島県女性相談センター
(配偶者暴力相談支援センター)
☎ 099-222-1467
相談時間 月・火・水・木 / 8:30~17:00
土 / 8:30~20:00
日 / 9:00~15:00
※祝日除く

鹿児島県男女共同参画センター
(配偶者暴力相談支援センター)
☎ 099-221-6630
099-221-6631
相談時間 月・火・水・木・金 / 9:00~17:00
土(休日の翌日) / 9:00~20:00
※その他、弁護士や医師による専門相談及び男性相談を定期的に実施(要予約)

警察総合相談電話(鹿児島県警察本部内)
☎ 099-254-9110 または #9110
受付時間 24時間対応

鹿児島県警察本部生活安全企画課
☎ 099-206-0110(代)
受付時間 月~金 / 8:30~17:15

各警察署の生活安全(刑事)課
受付時間 月~金 / 8:30~17:15
※上記以外でも緊急の場合対応

緊急を要する場合は、**110番**を...
警察以外の窓口は、年末年始はお休みです。

性的暴力
○ 自分に自信がない
○ 無気力
○ だれにも話せない
○ 性行為を強要される
○ 避妊に協力しない

夫や恋人など身近な人からの暴力(DV)は、あなたの人権を侵害する許されない行為です。
まずは...
相談してみてください。

鹿児島市が発行しているカードサイズDVリーフレット

10 自殺について

問 53 あなたは、この1年間で自殺したい(死にたい)と考えたことがありますか。
(ひとつに○)

- ① 考えたことがある → 問 53-1、2、3 个回答後、問 54 へ
② 考えたことはない → 問 54 へ

問 53 で『①考えたことがある』とご回答された方にお聞きします。

問 53-1 自殺を考えたときの一番の原因は何ですか。(ひとつに○)

- | | |
|----------|-----------|
| ①家庭問題 | ⑤学校問題 |
| ②健康問題 | ⑥勤務問題 |
| ③経済・生活問題 | ⑦孤独感・近隣関係 |
| ④男女問題 | ⑧その他 () |

問 53-2 あなたは、自殺をしたいと思ったときにだれに（どこか）に相談しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------|
| ①配偶者 | ⑥職場 |
| ②配偶者以外の家族 | ⑦医療機関 |
| ③友人・知人 | ⑧相談していない |
| ④相談機関（市役所・いのちの電話など） | ⑨その他 () |
| ⑤学校 | |

問 53-3 あなたは、自殺したいと思った原因による精神的苦痛などのため、医療機関を受診したことがありますか。(ひとつに○)

- ① ある ② ない

問 54 自殺に関して相談ができるところを知っていますか。（ひとつに○）

- ① 知っている ② 知らない

※心の悩みに関する相談窓口があります。ひとりで悩まずにご相談ください。

主な相談窓口	電話番号
鹿児島市保健所	099-258-2351
鹿児島市精神保健福祉交流センター	099-214-3352
鹿児島県自殺予防情報センター	099-228-9558
鹿児島県精神保健福祉センター	099-218-4755
鹿児島いのちの電話	099-250-7000

問 55 自殺について知っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	あてはまるものすべてに○
①鹿児島市で毎年約 100 人の方が自殺で亡くなっている	
②自殺は追い込まれた末の死である	
③自殺は防ぐことができる	
④悩んでいる人はサインを発していることが多い	
⑤自分のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関へ相談することは大切である	
⑥身近な人のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関への相談を勧めることは大切である	
⑦自殺の危険性がある人に相談窓口や専門家などの支援に関する情報を提供することは大切である	
⑧考えたことがない	
⑨その他（ ）	

11 防災について

問 56 避難する場所を決めていますか。（または自宅に一番近い指定避難所を知っていますか。）（ひとつに○）

- ①決めている（知っている） ②決めていない（知らない）

問 57 災害が発生したとき、家族と連絡をとる方法を決めていますか。（ひとつに○）

- ①決めている ②決めていない

問 58 災害時の非常持ち出し品を準備していますか。（ひとつに○）

- ①準備している ②準備していない

問 59 災害が発生した場合、自力で避難できますか。（ひとつに○）

- ①できる ②できない

問 60 避難所に避難した場合に、一番不安なのは次のうちどれですか。（ひとつに○）

- ①食事 ⑤情報収集
②トイレ ⑥周りに迷惑をかけないか心配なこと
③睡眠 ⑦その他（ ）
④衛生面

問 61 災害時要援護者避難支援制度を知っていますか。（ひとつに○）

- ①知っている ②知らない

※災害時要援護者避難支援制度とは、災害時やそのおそれがある場合の避難に、家族等の支援が困難で、何らかの助けを必要とする重度の障害者やひとり暮らし高齢者などの皆様が、地域の中で避難の支援が受けられるようにするため、本人の申請や民生委員の戸別訪問調査による災害時要援護者台帳の作成や、支援に必要な情報の提供などを行うための取り組みです。

問 62 災害時に避難した人と避難しなかった人の把握のため、家族情報（家族の人数、氏名、年齢など）を事前に町内会などで把握しておく必要性を感じますか。またそうすることに賛成ですか。（ひとつに○）

- ①必要性があり、賛成である
- ②必要性は感じるが、賛成しがたい
- ③必要性は感じない、反対である
- ④その他（ ）

問 63 桜島の火山活動では、大正噴火時に失われたマグマの約9割が蓄積されており、2020年代には、その蓄積が大正噴火直前の状態とほぼ同じになり、大正噴火級の大噴火が起こる可能性が示唆されていることをご存じですか。（ひとつに○）

- ①知っている
- ②知らない

※問 64 から問 67 は桜島にお住まいの方への質問です。それ以外の方は問 68 にお進みください。

問 64 鹿児島市が開催する桜島火山爆発総合防災訓練に参加したことがありますか。（ひとつに○）

- ①ほぼ毎年参加している
- ②ほぼ毎年とはいかないが参加したことがある
- ③参加したことはない

問 65 現在、避難時に家族カードを提出することで、避難した方を把握することになっていますが、家族カードを提出することを知っていますか。（ひとつに○）

- ①知っている
- ②知らない

問 66 現在、避難しなかった人（避難時に島外にいる人や逃げ遅れた人など）を町内会や行政で確認する仕組みはありません。把握できるようにしておくことが必要だと考えますか。（ひとつに○）

- ①必要である
- ②必要ではない
- ③わからない

問 67 「避難勧告」が発令されたら、車は使わず船で避難することになりますが、その前の「避難準備」が発令された段階で、車などで島外に避難する考えがありますか。
(ひとつに○)

- ①避難準備の段階で車で避難する
- ②その考えはない
- ③わからない

問 68 事故やけがの予防に関しご意見、ご感想などありましたらご記入ください。

質問は以上です。最後までご協力頂きましてありがとうございました。
同封の返信用封筒（切手不要）に、この調査票を入れ **11月14日（木）**までに、郵便ポストに投函くださいますようお願いいたします。